

神奈川大学資格教育課程通信

第 37 号

編集・発行 神奈川大学資格教育課程センター運営委員会
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
☎045-481-5661(代) 内2051

「学校教育の未来を託したい」 人間科学部特任教授 小林 力



教師を目指している学生に、「何がきっかけだったのか」と尋ねると、「部活動の顧問の先生に憧れて」という答えが返ってくるのがあります。とりわけ保健体育科の教師を志望する学生に多いと感じます。

私が中学校の管理職を務めていた時のことです。「あと一つ勝てば県大会」という

徒への敬意と温かさを感じました。「勝った試合よりも、むしろ負けた試合が大事」と生徒に語りかける顧問の先生の人間性に惹きつけられました。

部活動は、生徒にとって極めて価値のある教育活動だと思っています。中学校や高校で出会った顧問の先生がロールモデルとなつて、教師を目指す学生が少なくないのも納得できます。

「ところが残念なことに、「ブラック部活動」という言葉が社会に広がり、このところすつかり定着してしまつたように感じます。さらに、部活動に端を発して、教師の仕事そのものが「ブラック」という職業観も出てきて

しましました。教師の過酷な勤務状態は、改善すべき喫緊の課題です。また、行き過ぎた指導や勝利至上主義など、これまで様々な問題点が指摘されてきた運動部活動についても、その在り方を見直し、改革していく必要があります。

運動部活動の改革には、保健体育科教師の力が必要不可欠です。なぜなら、保健体育科教師は、そのほとんどが運動部活動の顧問を務める一方で、新学芸指導要領のもと、生涯スポーツ志向する新たな運動・スポーツ教育の推進者でもあるからです。

保健体育科の授業と運動部活動とを結びつけ、生徒一人一人の豊かなスポーツライフの実現を目指す。これは、保健体育科教師の使命です。また、運動部活動の改革は、今求められている「学校における働き方改革」にもつながるものです。

国際日本学部の紹介

国際日本学部設置準備委員会

委員長 坪井 雅史



みなさま既にご承知の通り2020年度より、国際日本学部が新たに設置されます。4月からの学部長就任予定者として、簡単にこの学部の紹介をさせていただきます。

国際日本学部は、国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科の3学科から構成され、それぞれの入学定員は、170名、60

名、70名となっています。全学科の学生が、学科を横断して開講される学部教養科目や、学科横断的なゼミナールを履修する中で、学科の垣根を越えて互いに交流出来るようにしたことが、この学部の大きな特徴です。

国際文化交流学科は、これまで外国語学部所属していた国際文化交流学科の入学定員を70名増員し、文化交流、観光文化、言語メディア、国際日本の4コースを設け、これまで以上に多様な関心を持った学生を受け入れられるようにしま

した。従来との大きな違いとしては、観光分野の教員を大幅に増員し観光と文化の関係を学べるようになったこと、また日本文化を研究する外国人教員を増員し、国際的な視点から見た日本文化について英語で学べる科目を大幅に増やしたことがあげられます。

また日本文化学科と、歴史民俗学科という新しい学科を開講することで、これまで本学にはなかった全く新しい分野に関心を持つ学生をも受け入れられるようになります。日本文化学科では、日本語学、日本文学だけでなく、日本の古典ならびに現代文化を幅広く学べるようにしております。歴史民俗学科では、大

学院歴史民俗資料学研究所ならびに日本常民文化研究所等の、本学が誇るさまざまな資料に学生が直にふれながら学べる科目を充実させるとともに、地域創生に寄与できる学生を育てるための教育が特徴になっています。

特に資格教育課程との関連でいえば、日本文化学科では、本学ではじめて中学校の国語の教員免許を取得出来るようになります。歴史民俗学科では公民分野ではなく歴史の分野を中心とした中学・社会、ならびに日本史を専門に教えられる地理歴史の教員を輩出できるようにいたします。新たに設置される国語教職課程だけでなく、社会・地

表 1 2019 年度教職課程登録者・内諾者・教育実習者数

	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次			大学院		科目等履修生	
	仮登録	本登録	本登録	内諾	本登録	内諾	実習	内諾	実習	内諾	実習	内諾	実習
法 学 部	35	10	25	11	31	0	11	0	0	0	1		
経 済 学 部	64	35	33	12	44	1	16	0	0	1	0		
経 営 学 部	15	10	3	3	13	0	3	0	0	0	0		
外 国 語 学 部	63	28	31	18	46	3	18	0	0	0	2		
人 間 科 学 部 (心理発達、 人間社会コース)	83	16	70	9	86	0	5	0	0	0	0		
人 間 科 学 部 (スポーツ 健康コース)		47		25		4	23	0	0	1	0		
理 学 部	86	66	67	34	78	9	15	1	3	2	6		
工 学 部	61	34	29	11	33	0	12	0	0	0	0		
計	407	246	258	123	331	17	103	1	3	4	9		

注：1. 「内諾」は2020年度教育実習の「内諾」を示す。
2. 「実習」は2019年度教育実習を示す。

表 2 2020 年度教員採用者数

	在 学 生	卒 業 生
法 学 部	0	0
経 済 学 部	3(1)	3
経 営 学 部	0	2
外 国 語 学 部 (大学院生含む)	3	4
人 間 科 学 部 (心理発達、 人間社会コース)	1	0
人 間 科 学 部 (スポーツ 健康コース)	4	5
理 学 部(大学院生含む)	3(1)	17(4)
工 学 部(大学院生含む)	0	1
計	14(2)	32(4)

注：() は内数で、私立学校採用者を示す。

2019年度各課程活動報告

教職課程

本学教職課程の活動は多岐にわたりますが、ここでは次の活動について報告させていただきます。

段階的な履修条件を設定した教育課程の編成

課程運営において、学年制のような履修条件を設定した教育課程を編成し、学年の継続性を踏まえた計画的履修を促すというのが教職課程の方針です。今年度もこの方針に従って、教職課程履修の学生が段階的に教員に必要とされる知識・技能を高め、学校現場での実践力を身に付けるように課程運営を行いました。

主体的・対話的で深い学びを指導する力を育成する少人数クラスの授業運営

教職課程では、多くの授業において少人数クラスを実現し、学生一人一人のアクティブ・ラーニング(討論・模擬授業・プレゼンテーション等)の機会を作り、学生が自ら主体的・対話的で深い学びを経験しつつ、学校現場でそれらを活かして生徒に指導できるように授業運営しています。今年度も同様の授業運営が行われました。そして、年度末に、教職課程の授業を担当する専任・非常勤の教員がより良い授業実践に向けて意見や情報交換をする懇談会が開催されました。

学校等での現場体験の提供

学校等での現場体験には、近隣の学校でAT(アシスタント・ティーチャー)等を行う学校ボランティアと、近隣の中学生を対象とした個別学習支援としてJIN-KANA学習塾があり、近隣の学校との信頼関係の構築や、体験する学生へのカンファレンスのきめ細やかな実施により、現場体験をする学生の自主性・積極性がこれまで以上に高まってきています。

卒業生教員とのつながり

2014年に神大の卒業生教員同士の交流と、教職課程の連携によるよりよい教員養成に向けて、「神大教員ネットワーク」が設立されました。その活動の一例として、毎年8月に「若手教員の集い」が開催されます。今年度は、I部「意見交換会」及びII部「ベテラン教員を交えた協議会」(テーマは「特別な支援を必要とする子どもへのかかわり方」、「職場の人間関係と今どきの子ども」、「小学校での児童への支援の在り方」と総合的学習の時間の取り組み)として、III部「情報交換会・世代間交流」が実施されました。若手教員から率直な意見が出され、

教員採用試験対策

今年度の教員採用試験対策講座は、4月〜8月に4年次生を対象に、自治体別模擬試験・論文対策講座・面接個別指導、「教職教養」直前講座、二次試験対策講座等のプログラムが、また、7月以降に3年次生を対象に、スタートガイダンス、専門教養対策講座、全国公開模擬試験、論文基礎講座、「教職教養」対策講座、全国公開模擬試験、特別対策講座(面接、場面指導、模擬授業等)等のプログラムがそれぞれ実施され、教員志望の学生が多く参加しました。

FD活動―教育研究交流会

教職課程では、毎年、神大の卒業生教員及び在学生を主な対象としつつ、近隣学校等の教育関係者や学校教員経験者の非常勤講師を含めた本学教員とが、それぞれの立場から学校教育や教員養成等について考え、意見交換を行う「教育研究交流会」を開催しています。第I部では、「囚われのいじめ問題―事件報道・当事者、教育実践―」と題して、教育社会学者の北澤毅先生(立教大学名誉教授)が基調講演を行いました。次に近藤昭一先生(本学特任教授・小林力先生(本学特任教授)が指定討論を行い、フロアー全体での熱いディスカッションへと発展しました。第II部では、「神大・ユ

活発で有意義な交流のひと時となりました。

スサポート・プロジェクト(JYSP)の展開―学校ボランティア・JIN-KANA学習塾活動報告―というところで、学校ボランティアとJIN-KANA学習塾に参加している学生諸氏からの活動報告が行われました。第III部では、「教育」に関わる卒業生・学生・近隣学校・本学教員等が広く交流を図る懇談会が行われました。

教員免許状更新講習(必修・選択必修領域)

今年度は8月に開催された(受講者:81名)、必修領域、選択必修領域と2日間に渡って行われました。グループに分かれ、各教員から普段の教育活動の振り返りが発表され、そこから提起された教育上の課題等について活発に議論されました。年代や校種の異なる受講者が学び合い、刺激合う様子が見られました。

大西 勝也



教育研究交流会の様子

社会教育課程

社会教育課程では、学校教育の中核となる人材育成を目指し、実践型教育に注力しました。

(1)社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令の施行に伴う変更届提出・課程修了者が「社会教育士」と称することができるようになり、養成課程の学習成果が社会で認知され、広く社会教育活動に生かされることを期待されます。

(2)学校外教育機関での社会教育実習・事前に、教育行政・地域分析や社会教育施設の役割等を調べ学習した上で、特別講師の北見靖直氏(国立阿蘇青少年交流の家)より実習の心得を学習。8名の学生が10日間前後の実習。地元の社会教育施設(静岡県三島市民生涯学習センター、長野県上田市上野が丘公民館、神奈川県立青少年センター)、青少年教育施設(国立赤城青少年交流の家、札幌市青少年山の家、埼玉県立名栗げんきプラザ)、その他の関連施設(横浜子ども青少年局向陽学園、静岡県社会福祉法人ハルモニアあかね)。

(3)多様な課題に向き合う体験活動「社会教育演習I」授業(西野博之先生)の1環として、社会教育施設の先進地「川崎市子ども夢パーク」(フリースペースえん)にて見学実習。現場体験実習として「夢ぱまつり2019」(準備・実施7/14・15)に20名の学生が参加。

(4)特別講師による双方型授業「現代教育の課題I」にて竹原和泉氏(横浜市立東山田中学校コミュニティハウス館長7/5)、「女性学・男性学」にて福島光生氏(ライター・コピーライター7/11)、森本薫(ソーシヤルワーカー・カウンセラー7/18)、「生涯学習論」にて多文化共生について佐々木聖聖(神奈川県立、在日中国人学生12/17)が講演。

(5)学生の自主的な地域参画型活動「神奈川区うらしま荘「子どもお楽しみ会」(企画運営11/30)、同区役所

学芸員課程

本課程は、学芸員としての基礎知識や文化財・自然科学系資料を取り扱う技能の習得を目的とし、横浜キャンパスと湘南ひらつかキャンパスそれぞれで開講しています。

3年次までに学内での座学と実習で学芸員としての基礎的知識を養い、4年次の「博物館実習II」では、課程の集大成として県内外の特色ある博物館等の施設での見学実習と館務実習を行っている。2019年度は横浜キャンパスで2名、湘南ひらつかキャンパスで14名が実習を行いました。

3年次の「博物館実習I」は、本学所蔵の貴重な古文書・民俗資料を扱う実習や、平塚周辺の恵まれた自然を利用した実習など、本学ならではの内容です。その一例として湘南ひらつかキャンパスの生物実習が挙げられます。本実習は同キャンパスで2009年以降毎年続けられ、本年度は9/10〜12に実施されました。初日の午前中に小型漁船をチャーターし、担当教員とTAにより平塚沖のドレッジで実習用の生物試料を採取。履修生はその試料を基に、実験室で生物の抽出、整理、同定、保存法を学習し、課題としてこれらの生物試料の博物館での利用法について考察しました。生物系学芸員の重要な技能である同定作業は、履修生にとって生物に関する深い知識と経験を要することを体験する良い機会になったと思います。

2023年に理学部は横浜キャンパスに移転となり、この実習をその後も継続することは困難となるため、これに代わる新たな実習プログラムの開発が今後の課題です。

加瀬 友喜

日本語教員養成課程

2019年6月、「日本語教育の推進に関する法律」が公布・施行されました。これによって外国人児童生徒等に対する日本語教育の体制整備と教員養成、日本語教育の水準の維持向上、日本語教育に従事する者の能力及び資質の向上等がはじめて法的根拠を持つことになりました。また、「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告改訂版)」文

「地域づくり大学校」(4名)、「子ども食堂」(ふれあいっこ三ツ沢、かたくらんど)、「餅つき大会」(南神大寺団地自治会12/8)ほか多数の場でボランティア活動。 齊藤 ゆか

化審議会国語分科会2019年3月)においては、日本語教育人材に求められる資質・能力と養成・研修の在り方が示され、日本語教師の国家資格についても審議されつつあります。2019年度には在留外国人は270万人を超え、技能実習生の受け入れに関する法改正の実施などは、国内の内外大化を背景として

国内外のあらゆる分野で活躍

日本語教員養成課程では、

利用できる日本語教師の養成を目標とし、知識・技能・態度の基礎を培うための教育を行っています。4年次には飛鳥学院(横浜市南区)、川崎市ふれあい館(川崎市川崎区)において教育実習を行いました。飛鳥学院では留学生対象の日本語教育を指導いただき、川崎市ふれあい館では外国につながる子どもたちの学習支援と初期日本語教育に関するご指導をいただきました。今年度は5名が実習に参加し、

富谷 玲子

後輩へのメッセージ 「教員採用試験合格者より」

神奈川県 高等学校 英語 合格
「目の前の事を着実に」
外国語学部 英語英文学科 科目等履修生 吉川 将太

私は英語英文学科の科目等履修生になる前、経済学部の学部生として4年間在籍していました。その際に、留学や国際交流、海外旅行などの機会を通して英語の魅力に触れ、学びを深めたことで、その魅力が子ども達に伝えたいという思いが次第に強くなりました。それらをきっかけに、英語教師になることを目標に掲げ、卒業後、英語英文学科の科目等履修生を選択し、これまで学んできました。

私は、模擬授業の際に上手くできたと感じたことは無く、教育実習でも充実感があったものの、その反面挫折も味わい、教員採用試験に合格する自信は全くありませんでした。ただ、一つだけ心掛けていたのは「今すべきことを常に考え、目の前

栃木県 高等学校 保健体育 合格
「目標を達成するための覚悟」
人間科学部 人間科学科 4年 田村 優風

私が教員になると決めたのは、高校1年生の時です。そこでお世話になり支えてくれた恩師に憧れ、「先生のような教師になりたい」と思ったことがきっかけでした。今こうして、教壇に立つ資格を得ることができた

横浜市 中学校 社会 合格
「大切なものは続けること」
人間科学部 人間科学科 4年 内田 涼介

「恩師のような先生になりたい」と思い続けて8年、やっとそのスタートラインに立つことができました。私がここまで来ることができたのは、多くの人と出会い、支えられてきたからです。

私自身勉強が得意な方ではなく、学内の論文文対策講座では、「このままでは教員採用試験に間に合わない」とまで言われました。そのような状況の中で、先生方からは多くのアドバイスをいただき、就職課程の友人は共に勉強や対策をしてくれ、家族は最後まで応援してくれました。この多くの心強い支えがあったからこそ、私は合格を掴み取ることができたのだと思います。

最後に、これから教師になるために教育実習や、教員採用試験を控えている皆さんに一つだけ伝えたいことがあります。それは「最後まで努力を続けること」です。一時的な努力なら誰にでもできるので、重要なのは諦めないことです。努力は継続した分だけ、自分の力になります。



教員採用試験対策講座の様子

相模原市 小学校 合格(大学推薦)
「本当の気持ち」
外国語学部 英語英文学科 4年 石本 諒

私は、高校の英語教員になりたいと思い、神奈川大学へ入学しました。高校野球の指導者になりたいとも思っていた私は、高校の教員になるのがベストであると考えていました。大学2年生から母校の野球部インストラクターも経験し、高校の教員への道を進んでいました。そんな中で、小学校での学校ボランティアが私の人生を大きく変えました。私は小学校で

神奈川県 中学校 数学 合格
「教員としての目標」
理学部 情報科学科 4年 岡本 大輝

私が教員として掲げる目標は、2つあります。1つ目は、一人でも多くの生徒に数学の興味を持ってもらうことです。数学は中学生で苦手意識を持つたり、嫌いになったりする生徒が多くいます。その現状を打破するために、身近な事象を取り上げた授業や主体的・対話的な深い学びの場を積極的に提供していきたいです。また、ICT活用などの時代に合った方法も学び、自己研鑽をしていきます。

2つ目は、軟式野球の発展に寄与することです。小学生の頃に始めた野球を大学でも続けました。軟式野球部で活動する中で、幸運なことに野球部の所属す

る南関東大学軟式野球連盟で委員長を務めさせていただきました。世代や環境を超えた人々と関わったことは、文武両道の大切さを認識させ、確実に成長をもたらしてくれたと言えます。社会人になっても、軟式野球の世界に携わることができるのは教員の特権でもあります。今まで学んできたことを生徒たちに還元し、中学校教員という立場から軟式野球を盛り上げていきます。

2019年度 資格教育課程センター 運営委員会名簿

委員長 大西 勝也
副委員長 関口 昌秀(教職課程)
齊藤 ゆか(社会教育課程)

【教職課程】
萩野佳代子
加藤美智子
古屋喜美代
間山 広朗
近藤 昭一
鈴木 英夫
鈴木そよ子
望月 耕太

【学芸員課程】
大川 啓
安室 知
小熊 誠
廣田 博巨
金沢 謙一
加瀬 友喜

【日本語教員養成課程】
富谷 玲子

担当事務職員
【資格教育課程課】
八重樫典子
本多 夏織
佐武亜紀
里村 友実
間島 祐紀

【平塚教務課】
蕪木 青空



ミニゼミ報告会の様子「教職実践演習(中学・高校)」

編集後記

本学では、2020年度の国際日本学部の設置、2021年度のみならず、2021年度における新キャンパス開設と、今後大きな動きを予定しています。

国際日本学部では、本学では初めて国語科の教員養成を行います。そのため教職課程には、これまで以上に広範な領域をカバーした取り組みが求められること

望月耕太